

公表:令和 2 年 2 月 14日

事業所名 ドリーム中央

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や月齢、活動内容に合わせて環境設定に配慮している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別の関わりが必要なお子さんにも対応できるよう配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			お子さんの状態に合わせて、個別に支援出来る環境や視覚支援を取り入れている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			定期的に室内、車内清掃、遊具消毒、食器消毒等行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育後、スタッフ同士で振り返る機会を設け、目標やお子さんに合った支援を行えるよう話し合っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を基に、保護者からの要望に沿えるよう療育や業務について見直しをかけている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果を配布している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価の実施に向けて検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内、社外の研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			年齢に合ったアセスメントシートを活用し、保護者の意向を踏まえて計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			月齢に合ったアセスメントシートを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			全項目において、ガイドラインに則した支援内容を設定している。面談や各関係機関と情報共有を実施し、支援計画を作成している。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に沿った記録を記入出来るよう、すぐに参照できるようにしている。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案を作成し、活動担当職員を中心に職員間で話し合い行っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1度行った活動内容は必ず見直しをし、次に活かせるよう反省を行っている。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			お子さんの状態や、活動内容によって対応できるように作成している。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動担当の職員を中心に事前に打ち合わせを行っている。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育後必ず反省を行い、次の活動に活かせるよう引き継いでいる。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の提供記録以外にも、お子さんの状態や保護者からの連絡事項等も記録に残している。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、または必要に応じて支援計画の作成、見直しを実施している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者が中心に出席している。		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健師や児相等と連携し情報共有に努めている。		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当児無し	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当児無し	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				サポートファイルを使用し、就園先に提出する等お子さんに関する連携が図れるよう努めている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				サポートファイルを使用し、就学先に提出する等利用児に関する連携が図れるよう努めている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				実際に現場を見て頂き、助言を頂いて療育内容を見直している。	

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			系列の保育園の行事等に参加している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談以外にも、電話連絡や連絡帳を通して情報共有を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者からの相談や悩みを面談や電話連絡を通して迅速に対応している。	より相談しやすい関係作りを構築していきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			支援計画作成時に面談を行い、お子さんの様子や保護者の意向、今後の支援について情報共有後、了承を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談以外にも、電話や連絡帳を通して相談等に対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親の会やメンターさんの協力で元、茶話会や保護者勉強会を実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの申し入れ時には、迅速に且つ要望に沿えるよう対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月ブログやグループ通信を通して発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			契約時に説明を行い、十分に注意し取り扱っている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんや保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		行事等を通して、地域の方に参加して頂けるような機会を設けていきたい。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを整備し、訓練の実施内容を契約時やグループ通信を通して発信している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度、様々な災害を想定し訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時のフェイスシートや保護者からの聞き取りを通して、お子さんの状態を把握している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時にフェイスシートに記入や聞き取りを実施し、対応している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事案があった際には、報告書を作成しミーティングの時間を使用し共有し、再発防止に努めている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束を行うことはないが、拘束をしない対応方法を検討している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和2年2月14日

事業所名 ドリーム中央

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や学年、活動内容に合わせて環境設定に配慮している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別の関わりが必要なお子さんにも対応できるよう配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			障がいの特性に応じた対応や視覚的支援を行っている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育後、スタッフ同士で振り返る機会を設け、目標やお子さんに合った支援を行えるよう話し合っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を基に、保護者からの要望に沿えるよう療育や業務について見直しをかけている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果を配布している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価の実施に向けて検討中。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内、社外の研修にも積極的に参加している。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年齢に合ったアセスメントシートを活用し、保護者の意向を踏まえて計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年齢、障がいの特性に合ったアセスメントシートを使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案作成し、活動担当職員を中心に職員間で話し合い行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1度行った活動内容は必ず見直し、次に活かせるよう反省を行っている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの期間のお子さんの状態を把握し、活動内容を工夫している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんの状態や、活動内容によって対応できるよう作成している。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動担当の職員を中心に事前に打ち合わせを行っている。		

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育後必ず反省を行い、次の活動に活かせるよう引き継いでいる。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の提供記録以外にも、お子さんの状態や保護者からの連絡事項等も記録に残している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、または必要に応じて支援計画の作成、見直しを実施している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			管理者、児発管に周知している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて管理者が中心に出席している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者からの連絡により、適切に把握し調整を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				該当児無し
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			前例は無いが、必要に応じて対応していきたい。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				該当児無し
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			実際に現場を見て頂いたり、研修に参加し助言を基に療育内容を見直している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			系列の学童保育にて交流する機会を設けている。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談以外にも、電話連絡や連絡帳を通して情報共有を行っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談や悩みを面談や電話連絡を通して迅速に対応している。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談以外にも、電話や連絡帳を通して相談等に対応している。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親の会やメンターさんの協力で元、茶話会や保護者勉強会を実施している。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの申し入れ時には、迅速に且つ要望に沿えるよう対応している。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月ブログやグループ通信を通して発信している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に説明を行い、十分に注意をし取り扱っている。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童や保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		行事等を通して、地域の方に参加して頂けるような機会を設けていきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを整備し、訓練の実施内容を契約時やグループ通信を通して発信している。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度、様々な災害を想定し訓練を実施している。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行うことはないが、拘束をしない対応方法を検討している。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にフェイスシートに記入や聞き取りを実施し、対応している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事案があった際には、報告書を作成しミーティングの時間を使用し共有し、再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。